夕刊
磐城新聞
五月二十四日發行
定價一ヶ月金六拾五錢
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八〇五六五番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩は西の風薄曇
明日は南東の風曇

健康兒調査に當りて（六）

平第二小學校長 千葉右近

六年 佐藤玉江
化粧美よりも健康美
高一 鈴木富子
浴びよ日光鍛へよ身體
高一 青山俊子
家庭の規律は兒童の健康
高一 小川美津子
鍛へよ身體護れよ銃後
高二 野田きよ
丈夫な身体でニコ〜暮せ
高二 中川宣子
健康の家に光あり
高二 山田せつ
以上

むすび

以上不備にして要を得ざるも今次表彰に當りての調査の大項を述べたるものなり。而してこの健康優良兒童表彰は今次を以て一限せず將來年々引きつゞき之を行ふことに依つて一般兒童並に父兄に對する自己体位の自覺反省を促し疾病豫防、發病防止、並びに健康增進に資することに依つてこの擧を意義あらしめ少くとも近き將來に於て本校一般在校兒童の体位狀態を優良兒童の水準にまで引き上げ得たいものと念願するものである。が凡そこの種の業を行はんとするは、學校當局一人の力で能く出來得ることではなく、宜しく保護者、學校醫、學校當局等一丸となり、相互眞劍なる理解に俟たなければその効果は期待し得ないのである切に關係各位の御協力を希ふ次第である。 以上

健康週間褒集優秀
標語
適度の運動大きな体 五年 桐原能子
一寸の無理は大病のもと 五年 三井正子
健康第一皇國の寶 六年 海野和子
受けよ日光出せよ健康兒

自治制五十年

珠雲 小野務平

制就民樵始諸尊
強兵富國亦成源
都城阪僻多歌頌
洽洛同仁一視恩

5月25日
△楠正成戰死（延元元）△米詩人エマソン生（一、八

默深し

灘勇太郎

○線路來るとひいやり素足にかゝる露 夜は冷たき草にふれけり
○兩手ふり足を揃へて飛びし夢 何時か思ひてみし事のあり
○吾の如き無口男も三人よれば その無口さもおかしかりけり

歌の甘さとよさ

伊東生

私はどういふものか格調の張つたがつしりした歌よりは、甘さのある歌がすきである。甘さといつても茂吉の所謂『甘たる言』と取られては困る。横矢武男の久木誌上に言つた甘さと思つて頂きたい。或はそれより少し甘い所に位するかも知れないあたりだ。劍でいふ星眼よりは机龍之助の音無劍だらうかも知れぬ。ともかくすきのないといふのは、何かついて來ない不快ものである。私が歌を初めた頃。上川豐にすゝめられて中村憲吉の『松の芽』を購つた、その頃

樹に滴つるひかりを見れば淸稚きをとめのいのち死なずに堪えんや

彼の息のつひに死ぬかと陽炎のかなしく立つを眼よりはなさず

など非常に好きで川上によく話したが、多少甘いと評されたのを記憶してゐる。！しながらこれらの歌を愛すことは當時と更らぬ

（續）

○三

その日〜

○

雨降りて芍藥園の明るさよ　虛子

講談

隱密小天狗（おんみつこてんぐ）

(29) 中川雨之氏作 近藤鐵氏畫

渦まく胸

俊作は、その手紙を取り上げた。書きつづられた一字一句が鋭く彼の胸を刺すのであつた。その瞳は、燃ゆるやうに輝き、卷紙を持つ手は、ぶるぶると顫へた。

『自分の苦しみは、もとより覺悟の上であつた。しかし自分の苦肉策のため、何も知らぬ妹まで、犧牲にして、共に苦しみを嘗させるに忍びない──』

さう思ふと、俊作は一刻も猶豫してゐられなかつた。妹とゝもに、けい之助を欺くことは、彼の最初からの計畫であつた。さうなれば無論けい之助が憤らせることもわかり切つたことであつた。たとへけい之助が怒つて唾を吐きかけようと、或ひは土足にかけようとも、甘んじて、それを忍ぶだけの覺悟は持つて居たのである。しかし、それがため、延いて、妹とけい之助との戀にまで、破たんを招かうとは、思ひも及ばぬことであつた。伊豆守に受けた恩義も重いことは重いが、それがために妹の幸福まで奪つてしまふのは可あい想でならなかつた。

彼は、やがて、後から追立てられるやうな氣がして瓢然と、本坂正法院裏の家を飛出したのである。

『いつそのこと、この苦しい立場を、伊豆のかみに打明けて隱密の仕事を斷つてしまうか？』

『それとも、けい之助の前に、頭を低げて詫をして、改めて、妹の一身を託するか？』

『それとも、もう是れつきり、小夜美の處へ、寄り付かないことにするか？』

彼は、さうした三つの目的を、胸に浮かせながら、しかし、そのいづれを擇ぶかといふことに、まだ決心が付いて居なかつた。

やがて彼が、ぶら〜と來かゝつたのは、湯島二丁目の、聖堂裏であつた。圭之助の屋敷は、この先の菊坂町にあつた。俊作の足は、ひとりでに、その方に向いたのである。

この邊は、人通りも少く晝でも靜かであつた。その靜けさの中で聖堂の杜に鳴く初蟬の聲が、夏めいた氣分を漂はせて居つた。

『もう夏が來るのか。早いものだ──』

呟やきながら俊作は爪先上りの道を歩いて居た。

すると、橫手の、神田明神の鳥居上から一人の武士が、急ぎ足に石段を降りて來た。そして俊作を呼びとめた。

『戶田氏、しばらくお待ちください』

聲をかけられて、俊作は振り回つた。

『どなたですか』

しかしその武士は、編笠を冠つて居たので、顔ははつきりわからなかつた。

『拙者です』

と、いひながら、武士は近づいて來た。

俊作は編笠を覗いて、それが篠塚光之進であることを知つた。

光之進は、伊豆のかみの最もお氣に入りの家來であつた。そして兩人は、豫ねてから、知り合の間柄でもあつた。

『あ、篠塚氏でしたか』

と、俊作は、輕く會釋をした。

『お呼び留め申して、甚だ失禮ですが、ちよつと、あれまで──』

と、言ひながら、光之進は、鳥居の明神の境內を指すのであつた。

おでん
一平（イッペイ）
電話二六三番

酒とマヅイ
おでんの榮ちやん
平市田町花ノ里
電話三三番

廣告
六丁目
木村外科醫院

お節句飾りの！
値下げと正札賣に付
謹告
端午の節句が近づきました。皇軍大捷國運旭日の勢を示す此の時、お子様の將來に幸を祈る尙武節句を盛大に行はれる事は誠に意義深い事と存じます。
銃後の護りは健康兒、兒童愛護の精神から…私達同業者相計り五月節句品の奉仕的大値下を斷行いたしました。尙時代に相應じ絶對懸引のない正札賣に改めお客様の安心して御買上願へる様にいたしました。
御用命は正札賣りの聯盟店へ仰付下さる様御願ひ申上げます。
平市節句飾販賣業聯盟（イロハ順）
平市三丁目 叶星 加藤商店
平市四丁目 鱗與支店
平市二丁目 フクタヤ祝品部
平市三丁目 金太郎玩具店
平市四丁目 菅野屋肥料店
平市四丁目 スガノヤ提灯店

視力保全運動
視力異狀に早期檢眼明快な視力能率增進、正確な眼鏡により視力を保全致しませう。
各眼科御用
眼鏡專門 玉屋眼鏡店 平市二丁目

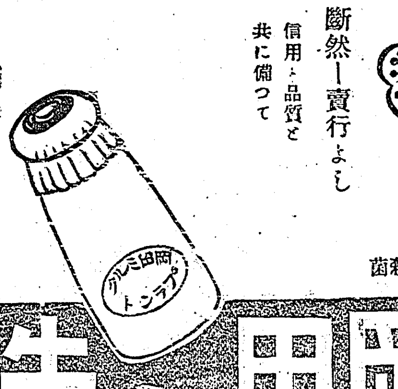
耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平市田町（電話五八番）藤田女學校前
『入院のお需めに應ず』
（看護婦及び見習看護婦募集）

齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木□政
內郷村高坂磐炭病院前
鈴木醫院

精神病科
脳脊髓病科
神經病科
內務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長醫學士 金森五郎

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報
（1部10セン）
…お取次致して居ります…
（平2） 西村藥局 （電3）

斷然一賣行よし
信用と品質と共に備つて
平市鎌田町
電話五一
低温殺菌
岡田牛乳



獨特の珈琲とWINE
紳士の喫茶店
グリルバツカス
サービス料一割（外拜辭）
平市銀座通りTEL七〇二
◇……◇……◇……◇
女店員募集
年齡十七才位より廿五才位まで
月給四拾圓以上支給漸次昇給
待遇衣裳貸與食、
何の氣苦勞もなく朗に働ける固定給料です眞面目に働きたい方堅實な生活を望まれる方は至急御出下さい懇切に御指導致します

新車のお知らせ
斷然!!! 乘心地よい!!!
三七年型フオード
入庫いたしました。
是非！御試乘の程を！
市內四丁目
スギタタクシー
電二一七番

平市田町
高久病院
（電話五三一番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽□酒
藥劑士 佐竹□雄
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
（看護婦至急募集）

晝夜診療
外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
（血液檢査每日）
イツデモ入院デキマス。
平市新川町〔電四六四〕
醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保

吸入用酸素
度量衡
モノサシ マス ハカリ
計量器
體溫器 寒暖計
關內藥局
電話四〇番

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平市四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

耳鼻咽喉科專門
平市南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
（入院隨意 病室完備）

九年の努力けふ結實
小名濱商港完成の歡び
祝福の怒濤全町に遍滿

皐月來の海は光る。遮る雲の一片さへもたぬ初夏の日影は普く水の上を照らして、一刷毛の紺青を平らに流した水の處々に、しろがねの細鱗を疊んで濃やかに動いて居る。おゝ何たる和かな風景であらうか今日しも前後九萬裟、總額二百七十餘萬の大帑を役じた小名濱商港完成を抃舞祝福する日。所謂歡天喜地の氣分は邉り一ぱいに遍滿してゐる

惠まれた港都
自然的要素其他諸條件

惟ふに商港としての價値は一港灣の位置、二地勢三海底地質、四水深及面積、五港內の形狀、六港口開敞の適否等自然的要素の外、七背部及沿岸諸方に對する交通運輸の便否、八旅客及物品の多寡集散、九人口增殖、十産業發達の程度等專ら經濟的要件の備はるや否やによつて定まるものである即ち船舶出入乃至は碇繫の安全なる事比較的低廉なる設備費を以て經濟的にして安全迅速に物貨の海陸聯絡運輸及保管の目的を達するにある然るに東京以北銚釜間太平洋沿岸に於てその形勝の宜しきを得たる港灣は銚子及小名濱港を措いて他に求められぬが而も如上の要件中最も重要なる第八の物價の多寡集散の點に於て欠くる處があらば如何に他の要件を具備するも商港としての價値は恐らく絶無であらう。この點に於て完全な條件を具備した小名濱が商港として今日の完成を見た事はむしろ當然の歸結とも云ひ得やうか今や間然する處無き商港として小名濱の今日あらしめた地方各有志其他各關係者の血みどろな努力も永久に沒すべからざるものがある地方民たるもの須らくこの一事を牢記し各自戮力一致して小名濱商港の機能をより多く發揮せしむる事に努力せねばならない

永遠の生命力
前途益々有望の磐炭

常磐炭界の覇王磐炭。淺野總一郎氏を社長に、前川益以氏を副社長に堂々たる陣容を有ち千七十五萬圓（內拂込九百十萬圓）の大資本金を擁する同社は明治廿六年淺野榮一、淺野總一郎兩氏出資の下に磐城炭礦社を創立し初めて現小野田炭礦の開發に着手、當時既に科學的經營を創始したのは我國石炭礦業沿革史上特筆に値する、二十年小野田、小名濱間延長八哩の輕便鐵道開通（蒸汽機關車動車輸送）二十二年小野田斜坑、二十七年回竪坑開坑二十九年小野田湯本間專用鐵道二哩敷設、三十一年內郷斜坑開坑、三十二年內郷、綴間專用鐵道開通、大正四年三星綴坑買收、七年綴製作所建設及び平市に火力發電所設置採掘礦區實に千百五十三萬八千五百二十二坪、年産昭和十一年九十八萬九千四百八十二瓲、昨年中幾分減退したが新區域の採炭準備完成により今十三年度は百萬瓲、近き將來に於ては年産二百萬瓲に達する見込みで礦業所長菅原萬治郎、副所長濱崎善三郎兩氏の名コンビで未採掘六億瓲に力強いコールカツターを打ち込んでゐる

平炭礦　好間企業株式會社經營資本金二十萬圓、技師藤田安之丞氏礦區四十三萬二千六百坪、昨年送炭高四萬二千九百七十三瓲

唯一の背面物貨
豐滿な黑ダイヤ

棉のマンチエスターたり得るや否やは第二とし、後方區域に於ける唯一無二の特產物として石炭を擧げねばならぬ新商港は差當り同じく之を主要目的とする三池港と云つた處である。この觀點から小名濱商港にとつて最も重大な背面關係たる地方の一部炭礦に就てその現況を見る

飛躍を辿る
大日本礦近況

菊田方部の代表炭、礦大日本炭礦株式會社は資本金五百十萬圓（內拂込二百八十五萬圓）取締役會長古賀春一、社長南俊二、專務取締役戶部光衞の堂々たる顏ぶれを中心に細川義一氏を勿來礦長として昨十二年度の出炭量三十二萬九千九百八十九瓲と云ふ驚異的成績を擧げてゐる、各方面の施設完備、業績倍々進展、明朗な明日を約束されてゐる

第二磐城操業進展

代表取締役　前川益次
礦業所長　菅原萬治郎
長倉坑長　前川孝一

新興躍進の場所に相應しい以上諸氏の緊張した陣容の下に去る九年資本金百五十萬圓全額拂込みを以て創立以來長倉、東斜坑、二坑、本坑各坑の開鑿何れも順調に進行、十年六月東斜坑の出炭を皮切りに、二坑は十一年三月、本坑は昨年五月何れも出炭を遞增し『剛毅邁往』を標語として全山從業員が大努力を續けて居り、今後の進展を刮目されてゐる。採掘礦區二千五百五十萬坪、試掘同千七百萬坪

加速度的に躍進
入山採炭最近の業績

明治初年高崎五六、桑田知明氏らの所有だつた舊礦區時代に端を發し極めて古い歷史を有する入山採炭株式會社は明治二十八年の創立逐年加速度的の發展を示して現資本金六百萬圓（內拂込金四百二十五萬圓）取締役社長島岡亮太郎氏、專務取締役渡邊寛一郎氏熱心に溫情に富む山元總帥大貫經次氏のタクトに隨ひ採試掘約千七百萬坪の礦區を向ふに廻し底止する處無き躍進を續けてゐる。昨十二年度の年産五十七萬千六百一瓲、而も優良炭として販路各方面に好評を博してゐる。尙は最近自社粉炭を原料として煉炭製造を開始し熱効率の強大と價格の低廉とで漸次需要を增してゐる 掘坑次の如し

第六坑（昭和三、九）第五坑（大正四、一一）第四坑（明治四〇、三）川平坑（同二八、六）第三坑（同）廣野坑（昭和三、三）運搬、選炭、排水、通氣及び保安、動力供給等各般に亘つて施設の完全を期してゐるが大正十五年創立した立國勢働自治會は、忠誠皇國に奉じ從業員の人格向上を圖る集團として輝かしい好成績を擧げてゐる

日曹小田炭礦　資本金三十三萬九千四百圓、取締役社長中野友禮氏、礦業所好間村北好間礦區八十一萬四千九百七十七坪十二年度送炭高十三萬八千七百四十六瓲、溫厚にして敏腕な所長三谷省吾氏により逐日業績の發展を示してゐる

社礎堅實を加ふ
時局下に伸展の古河坑

慶應年間平藩士服部貞幹の發見に係り一時旺盛に採掘したと云ふが其後二十年間廢絶し、二三の礦業權者を經て明治三十九年好間炭礦株式會社の有となり、更に大正四年買收した——と云ふ之亦古い沿革を有する古河石炭礦業株式會社である資本金一千萬圓全額拂込濟みで極めて基礎堅實、社長は古河虎之助男、副社長古河從純氏、理學博士下野十朗氏を礦業所長の下に好間赤井兩村地內二百五十九萬三千五百七十九坪の廣汎な礦區に於て昨十二年度の出炭量三十一萬二千二百七十七瓲に上り、十三萬瓲台に過ぎなかつた昭和元年當時に比べると全く奔躍的の伸展と云ふの外ない。坑內外の施設完備、殊に浴場、病院、飲料水、警備、教育、購買組合、健康保險組合、共濟會、勞資協調機關、体育會、在郷軍人會、倶樂部等の治安及び福利施設等一段精彩を放つてゐる

先祖から傳はる珍妙な別稱屋號
世にも稀な濱のユーモア

緊張の非常時局下に呑氣な長談義でもあるまいが昨今商港問題で有頂天になつてゐる小名濱には古來聞くも奇拔なニツクネームがあつて其が本物の屋號や名前より以上に通つてゐるのだから驚く、綽名の由來語源に就ては夫々確乎たる根據があるであらうが今は只單に子々孫々に言ひ傳へられて來ただけで之れと云ふ證據を知るものがない、先年同地の有志小野務平氏が拵へた綽名の番附なるものを見ると現在もちひられてゐるのは大体次の如くで東西を對照玩味した時に於て其間うたた噴飯を禁じ得ぬ妙味を感ずる

（東）たから、鐵、どぶ、三尺八寸、寶正院、山犬ふぐ、團子、十五日、歌舞伎、なめたら、屋根、目玉、とがり、白かべ、ばく、でき、ばくち、よつ、七日、あんだ、とんちん、後家、うさぎ、まんぢゆう、ちよんぐり、づいら、牛蒡、やんがんきば、なべ、どうず、まんまる、ときわ、一ツ原

（西）かねもち、やりくさい、二分五厘、辨慶、西光院、ぶた、さば、夏の牡丹餅、あつき粥、相撲まんぼう、からす、出びたい、あづない、赤なべばつか、でこ、ぶんまけばつたり、がんた、ちやんから、だらく、ねこ、ぼんのもち、取つてかよう、づらう、人參、やりがん、げぼ、かましようどんが、ちぢれ、屋しろ八光山

神奈川炭礦
奮闘の礦主矢郷氏

內郷村白水所在　大正十三年創立礦區十五萬坪十二年度送炭高二萬瓲少壯練達の礦主矢郷倉藏氏の異常な經營的才幹により近來頓に事業進展、將來を頗る有望視されてゐる

海の若雛
卅一日晴の出發

來月一日横須賀海兵團及び同航空隊に入る濱通りの『海の若雛』は三十日午後四時迄に平市役所に勢揃ひ一泊の上翌三十一日午前七時二十八分平發で出發する平市の附添員は兵事主任鈴木允氏

四倉漁港の補助費決る

四倉漁港修築補助費は七萬圓を左の如く交付されることに決定
十三年度一萬圓、十四年度—十六年度各二萬圓

ソレ地震だ（昨夕地方民吃驚）

小雨降るなか地方人の膽を冷した昨夕の强震は震源地か豐間村鹽屋崎沖合
發震時四時十八分五十五秒、繼續時間十九分七秒、餘震十數回、震幅十ミリ
時計が止る、煉瓦は落る人は直に戶外に飛び出してみんなビク〱もの、幸ひ惧られた津波もなく炭礦も無事、被害の筆頭は瀬戶物屋さんか『關東震災の時のこの地方よりは大きかつたネ』と一安のうちに夜を迎へた

自治制發布記念式

平市の自治制發布五十周年記念式は愈よ來月一日の市制記念日をトし第一小學校講堂で午前九時奉告祭（縣社子鍬倉）同十時物故功勞者慰靈祭、同十一時表彰式の順序で擧行、昨報百名のうち吏員を表彰、自治功勞者に對しては感謝狀を贈ることとなつてゐる

米價保合ひ

此程行つた石城販聯の俵米共販相場左の如く、前回とほゞ保合ひ
平一二、九〇　草野一二、九三　勿來一二、八八　大野一號一三、〇三　同二號一二、八八　同三號一二、八八　平窪一二、九五　夏井一二、八三　神谷一二、九二　飯野一二、九八　高久一三、〇六　飯野（大麥）五、八〇

白晝、小娘襲擊から今度は危く列車顛覆
末恐ろしい二少年

市內禰宜町加田三郎（一四）は葉吾助（一三）—何れも假名の兩名は二十二日午後七時頃夏井川鐵橋上に石や煉瓦を積み重ねて列車顚覆を企てたが幸ひ平着午前七時三十二分着の上りガソリンカー（久の濱發）がこれを刎ね飛ばして事なきを得た
同人らは十日前にも線路上に石塊を並べて貨物列車の顚覆をはかつた惡少年
それに加田は去る三月の白晝城山地內で魚行商の娘に匕首を突きつけて金品をまきあげんとした札つきの不良少年で同署でも大それた重ね〱の犯行に驚いてゐる、近く書類とともに身柄送檢の筈

好間村葬延期

星軍曹に對する好間村葬は二十六日午後一時から執行の筈であつたが英靈の凱旋遲延から延期された

辭令

下小川村下小川鄉社二俣神社々司　上平亮
兼補平市上平窪八重垣神社々掌

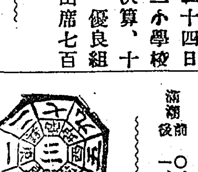
千輝東朝記者着任

高崎に榮轉した東京朝日新聞平通信部主任佐藤太郎氏の後任千輝克巳氏（水戶支局）は二十三日家族同伴着任、今二十四日各方面に就任の挨拶をなした

煙草小賣人總會。。。。平市煙草小賣組合總會を二十四日午前九時から平第三小學校講堂に開き十二年決算、十三年度豫算を附議、優良組合員を表彰した、出席七百名

巷の埃……二十二日夜遲く平の神橋から夏井川へ飛び込まんとする若い女を附近のものが發見、平署に引渡した、調べて見るとこれは〱田村郡大越村佐藤某（二八）といふ狂女、留置場でもしきりに死を口走るので署員もホト〱弱りきつた態、きのふ直に親許渡し

二十五日（小名濱測候所發表）
滿潮　前〇、三五　後一、三〇
干潮　前七、一五　後六、四五

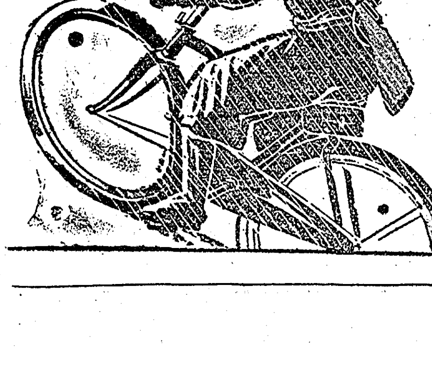


舊四月二十六日　水曜　丁己　大安　建　軫宿　新五月二十五日

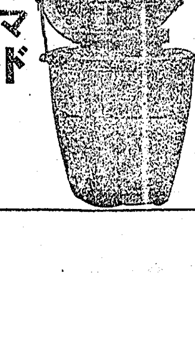
▲一白 十分の活氣を帶び來る日移轉旅行企業皆吉▲二黑 溫順賀直ならざれば人の反感を招く事あり▲三碧 人の長を採り我が短を補へば徳は日に集る▲四綠 追々と吉に向へども進み過ぎぬやうすべし▲五黃 油斷すれば逆行し易し金談契約旅行皆な凶▲六白 えいほうを收め內に在りて英氣を養ふべきとき▲七赤 位高ふして祿は少し高ぶれば更に損を招く▲八白 出發のみ多くして其れ丈の效果の擧らぬ日▲九紫 目上の引立てありほうばいの助けもある幸運日

平市南町
大和田醫院
電話一七〇番

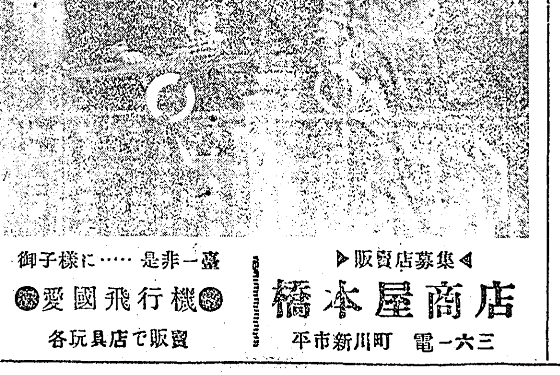
ガソリン不要
吾に鐵脚あり
鋼鐵車あり
力强く只一言
絕對優良
特殊鋼鐵製
帝國號自轉車
神風號自轉車
機關銃印自轉車
フタバ式各種重量リヤカー
フタバ商會
新川町郵便局前



實用新案第一八七四三〇號
意匠登錄第六六一六七號
石山式
石綿ムシカマド
こんな經濟的な『かまど』は他にありません
安價な燃料で濟み、保溫力が强く堅牢で火の元絕對安全！、御使用に御便利な—石綿製のムシカマド、近代生活のお台所に是非、たすゝめ致したい新製品で御座います。



和洋銅物金物問屋
平市五丁目
㊅ **釜屋商店**



御子樣に……是非一臺
愛國飛行機
各玩具店で販賣
▷販賣店募集◁
橋本屋商店
平市新川町　電一六三

故障の起らぬ
原口のラヂオ
ラヂオは　明音・明聽
ラヂオは是非——
專門店……へ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166